評価規準と、A・B・Cの判断の目安

4年 総合的な学習の時間「きれいな町 木曽川」／2学期10時間「木曽川エコ新聞」　　先生用

1｜よりどころ

総合的な学習の時間の目標	(1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な**知識及び技能**を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解する。 (2) 実社会・実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、**まとめ・表現**することができるようにする。 (3) 探究的な学習に**主体的・協働的**に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。
本校の指導計画	4年 環境「きれいな町 木曽川」。木曽川町の環境について調べ、自分たちにできることを考え、聞き手に分かりやすく工夫して発表する。 情報教育10時間：**ローマ字入力で文書を作成する／必要な情報をインターネットで検索し、ウェブサイトの情報を活用する。**
この10時間	1時間目 オリエンテーション（社会科で学んだ**ごみ・水・自然災害**から、家の人や学校の人に伝えたいことを決める）／2時間目 書き方の整理（主張 → 理由になる事実 → 図や写真 → 出典）／3〜10時間目 取材 → ノート → アプリ入力 → 推敲。1人1記事、班で1枚の新聞に割り付けて印刷する。

2｜単元の評価規準（3観点）

知識・技能	木曽川町の環境（ごみ・水・自然災害）について、いくつかの方法で調べて事実を集め、**どこで調べたか（出典）を示して**、文章・数字・写真に整理している。ローマ字入力で記事を入力し、必要な情報をインターネットや市の資料から得て使っている。
思考・判断・表現	自分の考え（主張）と、その理由になる**具体的な事実**（見たこと・聞いたこと・数字）を結び付け、見出し・写真・グラフを使って、**読む人に分かりやすい形**で新聞に表している。
主体的に学習に取り組む態度	推敲をくり返して記事をよりよくしようとし、調べて分かったことを**家の人や地域の人に伝え**、自分の生活に生かそうとしている。

3｜記事の本文（①はじめ／②中／③おわり）の欄の目安

	①はじめ（自分の考え・そのわけ）	②中（理由になる事実）／③おわり（まとめ）
A	主張が1文ではっきりし、見出し・本文・主張のわくまで、同じ言葉でつながっている。	事実が2しゅるい以上（数字／見たこと／聞いたこと）あり、**「〜によると」と出典**が書かれている。自分で見学・取材して確かめた事実がふくまれる。**おわり**で、その事実から言えることを主張にもどしてまとめている。
B	自分の考えを1文で書けている（題材の説明ではなく、言いたいことになっている）。	調べて分かった事実を、まとまった長さ（40字以上）で書けている。数字か日づけのどちらかが入っている。**おわり**にひとことまとめがある。
C	考えが書けていない、または「ごみはきたない」のような感想にとどまる。	事実がなく、思ったことだけになっている。おわりのまとめもない。

Cの子への手だて：アプリの〔推敲のヒント〕を開かせる。「考えだけで書かれています」「数字に出典を書きましょう」など、**その子の文に合わせた一言**が出る。2時間目の「書き方」の作業に戻り、集めたい事実を3つ決め直させるとよい。

ほかの欄の目安と、評価の決まりごと

取材きろく／写真／見出し／主張・編集後記／班で共有する欄のあつかい　　先生用

4｜欄ごとの目安

欄	A	見るところ
ツール比べ（班で1つ・3時間目）	A	1つの問いを**ちがう3つの方法**で調べ、そろった・ちがった・見つからないを記録している。**ちがったときに、どれを信じるかとその理由**が書いてある（空のままでは、その作業を終われない仕組み）。
取材きろく（班で1つ）	A	「どこで・だれに（出典）」と「分かったこと」がそろった行が**3つ以上**。**2しゅるい以上**の方法で調べている。AIを使った行には「確かめた方法」が書いてある。**「自分で？」が〈自分で見た・聞いた〉〈自分ではかった・数えた〉の行が1つ以上**ある（紙面に「自分で確かめた事実あり」の取材バッジが出る）。
数とグラフ（班で1つ）	A	数字が3つ以上あり、**出典**（市のホームページ・パンフレットなど）が書いてある。
写真（1人1枚）	A	自分の記事に写真があり、説明に**「いつ（○月○日）」「どこで」**が書いてある。
見出し	A	見出しのことばが**本文に出てくる**（見出しだけが大げさになっていない）。「〜について」で終わっていない。
主張・編集後記（班で1つ）	A	読む人への**よびかけ**の形（「〜しよう」「〜してください」）。自分たちが明日からできることになっている。

5｜班で共有する欄のあつかい

取材きろく・ツール比べ・グラフ・インタビュー・主張は、班で1つです。そのため、知識・技能の **Lv6・Lv8・Lv9** は班の記録を見ています。 **一人ひとりの力を見るときは、自分の記事だけで決まる Lv3・Lv4・Lv5・Lv7・Lv10 を重く見てください。** 思考・判断・表現と態度は、Lv7（写真）をのぞいて、すべてその子の記事と書きぶりで決まります。

6｜評価の決まりごと

決まり	中身
Lvの出し方	**Lv ＝ 1 ＋（立った項目の数）**。項目は Lv2〜Lv10 の9個で、下から積み上がる形に並べてある。
A・B・C	**Lv4 ＝ 4年生として十分（B）／Lv7 ＝ 地域・社会でも通用する／Lv8以上 ＝ A／Lv3以下 ＝ C**。ほかの単元（防災プラン・愛知の工芸品）と同じ高さにそろえてある。
総合のLv	3観点の**中央値**（まん中の値）。平均にしない。
判定のしかた	**AIは使わない**。ことばのきまり（正規表現）で判定するので、同じ文なら何回でも同じ結果になる。
◇の項目	言いかえに弱い項目。立たないのに長く書けている子は、採点画面に「要確認」と出る。**そこだけ先生が読んで**手で直す。
数字の正しさ	この単元は題材が3つ（ごみ・水・災害）に分かれるため、**数字の正誤判定（事実チェック）は入れていない**。出典が書いてあるかどうかだけを見る。固定の数字を使う年は、アプリに FACTS 表を足せば同じ形で判定できる。
通知表との関係	アプリのLvは**そのときの記事の形**を見たもの。提出回数・話し合いのようす・ノートとあわせて、先生が最終の評価を決める。

7｜一致率で較正する（授業のあと）

採点画面の〔先生：クラスのまとめ〕で、班・名前・3観点のLv・総合Lv・要確認が、**見出しつきの表**で出る（右の3列は手づけ用に空けてある）。 30人ぶんを先生が手で付け、**assets/一致率チェッカー.html** にはると、±1以内の割合・A/B/Cの一致・平均のずれ・κ が出る。 合格ラインは **±1以内が8割／A・B・Cの一致が9割／平均のずれ±0.5以内／κ 0.6以上**。外れたときは、規準の文ではなく**アプリの言い回し（正規表現）を足す**。

3観点 × Lv1〜10

下に行くほど、前の段階をふくむ／アプリの採点画面に出る項目と1対1

先生用

Lv	知識・技能 調べた事実が確かになる	思考・判断・表現 主張 → 事実 → 図や写真 → 出典	主体的に学習に取り組む態度 出す → 直す → 伝える
1	まだ書き始めたところ（どの項目も立っていない）		
2	調べるテーマを決めた	自分の考えを書いた	自分の記事を書いた
3	調べて分かった事実を、まとまった長さ（40字以上）で書いた ◇	中（事実）とおわり（まとめ）を書いた	推敲の記録を出した
4	数字か日づけが入っている	考えとわけが、ことばでつながっている ◇	ヒントや採点を見て、そのあと直した
5	どこで調べたか（出典）を本文に書いた	見出しが本文と合っている ◇	2回以上採点して、点が上がった
6	取材きろくに、出典つきの行が3つ以上（班）	事実が2しゅるい以上（数字・見たこと・聞いたこと）	「わたしは〜します」と自分の行動で書いた
7	人から聞いた話を、自分の記事に書いた	写真や図があり、説明に「いつ」が書いてある	すぐ始める形で書いた（今日・明日・これから）
8	2しゅるい以上で調べ、AIの行は別の方法で確かめた	読む人によびかけている	お家の人や学校の人に伝える形で書いた
9	グラフの数字に出典があり、本文にも出典がある	自分や自分の家・学校にひきつけて書いた	続ける工夫を書いた（毎日・毎週・これからも）
10	自分で確かめた事実と、出典つきの数字がそろった ◇ （取材きろくの「自分で？」も材料になるが、**その話を記事の中に書いている**ことが条件）	事実がそろい、主張を支えている	3回以上出して伸び、町や未来につなげた

段階の使い方

Lv	子どもに出る肩書き	見かた
1〜3	🐣 はじめの一歩／🔍 調べはじめ／🖍️ 見習い記者	**C**。事実か、自分の考えのどちらかが足りない。推敲のヒントを開かせる。
4	📝 記者	**B（合格）**。4年生として十分な記事。「合格！」と画面に出る。
5〜7	📷 証拠をそろえる人／🔎 取材の達人／🖋️ ひとり立ちの記者	Bの上。Lv7から**地域の人が読んでも通用する**記事。
8〜10	📣 伝える人／📰 まちの記者／✒️✨ 新聞マスター	**A**。調べ・組み立て・伝え方がそろっている。Lv10はめったに出ない。

較正のたしかめ（2026年11月5日）：3つの見本で確かめた。「ほとんど書いていない子」＝Lv1／「ふつうに書けた子」＝知技4・思判表5・態度3 → **総合Lv4（合格）**／「くわしく調べた子」＝知技10・思判表10・態度9 → **総合Lv10**。同じ文なら何回採点しても同じ結果になることも確かめた。